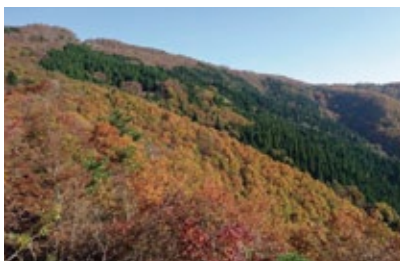


蘇武岳・大杉山～大糠登山道

昭和初期に、複数の同行者が協力し、パーティーを作って登るのが常識とされていましたが、次々と日本アルプスを単独で制覇していった加藤文太郎や、世界7大陸最高峰を踏破し、世界的にも有名になった植村直己などが登頂した蘇武岳です。ブナの原生林を抜ける登山道と、頂上から日本海や氷ノ山などの360度のパノラマなど、但馬の大自然を満喫できる歩きごたえのあるコースです。距離、高低差があり、長時間の登山となりますので、ガイドサービスを利用されることをおすすめします。



- ① 万場スキー場駐車場から、20分ほど、ゲレンデの作業道をあがっていくと、万場登山口の看板が見える。
- ② さらにそこから20分ほどいくと、「巨樹の谷コース」と「大杉山コース」の分岐に来ますが、右の「大杉山コース」の方に進む。コースのほとんどが原生林となっており、ブナの美しい森が頂上付近まで続く。
- ③ 約2時間歩くと、山の名前の由来にもなっている大杉が見え、ほどなくして大杉山(1,007m)に到着する。
- ④ 歩みを進め、4つ山越えとよばれる峰を超えていく。50分ほど歩くと、さきに分岐した「巨樹の谷コース」と合流する。
- ⑤ さらに40分ほど歩くと蘇武岳(1,074m)にたどりつく。
蘇武岳に到着すると、西に、兵庫県最高峰の氷ノ山、ハチ北スキー場で有名な鉢伏山(1,221m)、扇ノ山(1,310m)など、中国山地の山々を望むことができる。北側には日本海が広がり、東側には豊岡盆地が広がるなど、360度パノラマの絶景が広がる。
- ⑥ 蘇武岳を30分ほど下ると、蘇武展望台に到着する。ここは、広域林道にもつながっており、車であがってこられる方も多くみられる。
- ⑦ 展望台の脇に下山道がある。10分ほど下ると、寺河内、大糠からの登山道の分岐があるので、右側(大糠側)を下る。馬の背をとおって、2時間で、村岡側の起点、大糠登山道の入口に到着する。本格的な登山道のため、トレッキングシューズなど山歩きに適した靴が望ましいが、道はとても歩きやすい。但馬が生んだ登山家に思いを馳せて登ってみてはどうだろう。



- 難易度：★★★★
- トイレ：道の駅神鍋高原、万場スキー場万場天神社、道の駅村岡ファームガーデン
- アクセス：
 - ・電車・バスの場合：JR江原駅より、全但バス神鍋高原線に乗車、神鍋ゆとりぎ温泉バス停下車
 - ・車：道の駅神鍋高原、万場スキー場
- 問合せ：うづかの森 TEL:0796-96-0024

距離(約)

12 km